

さいたま 来ぶらり通信

Contents

防災の日とさいたま市 1,2

本棚ぶらり テーマ「防災」 3

特徴的な地域資料コーナーを紹介します／特別整理休館・臨時休館のお知らせ／年末年始休館のお知らせ 4

わがまち

はっけん

Sai 発

防災の日と
さいたま市

毎年、9月1日は防災の日です。

防災の日は、大正12年(1923年)9月1日に発生した関東大震災にちなんで創設されました。

今年で関東大震災後100年目を迎えることから、関東大震災と身近な防災についてまとめました。

防災の日とは

「防災の日」は、昭和35年(1960年)に「広く国民が～中略～災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備するため(同年閣議了解より抜粋)」創設されました。9月1日を防災の日としたのは、関東大震災の発生日であり、また台風の被害を受けやすいと言われる二百十日にちなんだものです。さらに、昭和57年(1982年)には9月1日を含む1週間が「防災週間」として定められました。

さいたま市と関東大震災

関東大震災は大正12年(1923年)の9月1日午前11時58分、相模湾北西部を震源とするマグニチュード7.9と推定される地震で、約10万5千人もの死者・行方不明者を出しました。

当時のさいたま市域ではどのような影響があったのでしょうか。合併の前の旧市の市史では、それぞれ当時の様子を伝えています。

大宮市史では、一市町村として県内で最も多い死者数であったとの記載があります。「国鉄大宮工場と山丸製糸工場における被害が大きかったことによって



氷川神社水屋の倒壊～大正震災
志写真帖～(国立国会図書館ウ
ェブサイトより転載)

いる」とあります。

浦和市史では「浦和刑務所の工作場が全壊したほか～中略～六辻村では総戸数六七三戸のうち全壊二二九戸、半壊一七一戸におよぶ甚大な被害をうけ、沼影部落はほぼ全滅し～中略～大門村では小学校校舎が全壊するなどの被害をみた」とされています。

岩槻市史では「市域でも新和・川通の両村は中川低地であったため特に被害が大きかった」、「川通村では小学校が四棟全壊したり、神社・寺院とも各一棟全壊した。また新和村でも神社・寺院が各二棟全壊するなどの被害が出た」とあります。



二日午前八時浦和駅～埼玉県北足立
郡大正震災誌～(国立国会図書館ウ
ェブサイトより転載)

与野市史では、地域の被害は「軽微であった」と記されており、「二日には東京・神奈川からの避難者が埼玉に押し寄せ、中山道・本町通りや線路の上まで避難者や東京への見舞い客でいっぱいであった」とあり、「与野青年団は二日から与野駅に救護所を設け」、「三日になると～中略～与野町長井原貞亮は～中略～二〇〇余名に炊き出し」を行い、「四日からは与野町と木崎村で連合救護会を作って」救護活動を行ったという内容が記されています。

すべての市史で目次に「関東大震災」の項目があり、歴史的な事案として扱われていることがわかります。



防災を考える

近年では、風水害や地震等、様々な災害による危険について考える機会が増えています。そのような場合に役立つツールがあります。

ハザードマップ

さいたま市では、洪水ハザードマップ・内水ハザードマップ・土砂災害ハザードマップを公開しています。最寄りの避難所や、安全に移動できるルートの確認に役立ちます。市ホームページや各区情報公開コーナーで提供しています。

防災カルテ

さいたま市の被害想定については、防災カルテをご確認ください。各区で作成されており、それぞれの地域の建物の概況、学区内被害想定、防災関連施設情報などが掲載されています。自分が住んでいる地区はどのような危険性があるのかを考えるきっかけになりますので、1度見てみましょう。

ここで紹介したハザードマップと防災カルテは、図書館でも資料として所蔵していますので、確認してみましょう。



高層マンションの場合

さいたま市では、近年、高層マンションの建設が進んでいます。

長周期地震動と高層階の危険性について

「長周期地震動」とは、地震発生時に通常の震動とは異なり、2秒～20秒以上の周期で揺れる震動のことです。揺れの周期が長く、ゆっくりとした揺れが非常に長く続き、高層マンションの構造や高さ、規模によっては、低層階に比べて、高層階になるほど被害が大きくなるおそれがあります。大きくゆっくりした揺れに備えて、家具転倒防止策を実施しましょう。エレベーターが停止した時に備えて日ごろから備蓄品を多めに用意しておきましょう。



外出時に

帰宅困難者になってしまった場合には、むやみな移動は控えましょう。大地震直後の移動は、各地で発生する混雑や集団転倒に巻き込まれる危険性があります。

そのような災害時に安否を確認することに役立つのが「災害用伝言サービス」です。毎月1日・15日など体験利用日が設けられていますので積極的に確認・体験しておきましょう。



我が家の防災をチェック

いざという時に備え、日ごろから家族で話し合い、準備しておくことが大切です。

家具の配置

家の中の家具の配置を見直すのも有効です。部屋の出入り口に避難の妨げになるような家具を置かない、寝ているときに物が落ちてくるような配置にしない、などのポイントがあります。

ローリングストック

ローリングストックとは、日常の食品を少し多めに買い、古いものから順に食べてその分だけ買い足すことで、鮮度を一定に保ちながら常に一定量の食品を備蓄しておく方法の事です。この方法で、普段から食べなれたものを非常食として役立てることが出来ます。



P.1～2参考文献

- ・『大宮市史 第4巻 近代編』大宮市役所 1982年
- ・『浦和市史 通史編3』浦和市総務部市史編さん室／編 浦和市 1990年
- ・『岩槻市史 通史編』岩槻市役所 1985年
- ・『与野市史 通史編 下巻』与野市総務部市史編さん室／編 与野市 1988年
- ・『さいたま市防災ガイドブック[令和2年改訂版／令和4年9月一部内容を修正]』さいたま市総務局危機管理部防災課 2022年
- ・『さいたま市地域防災計画－共通編－[令和3年7月]』さいたま市防災会議／編集 さいたま市防災会議 2021年
- ・さいたま市ホームページ さいたま市内水ハザードマップについて
<https://www.city.saitama.jp/001/006/003/002/001/p078773.html>
- ・さいたま市ホームページ 家庭での備えを！
<https://www.city.saitama.jp/001/011/015/004/001/p000038.html>

本棚 ぶらり

テーマ 防災



『「もしも」に備える食 災害時でも、いつもの食事を』

いしかわしんいち いまいずみ こ
石川伸一・今泉マユ子／著
清流出版 2015 年



「被災時の食には、知恵があふれている。限られた条件下で食べものを作るとき、創意工夫が生まれる」
災害時の食と聞いて、乾パンやアルファ米などの非常食を思い浮かべる人は多いだろう。今は非常食でもおいしいものが多く、ほとんど調理不要なので便利だ。しかし、本書では、災害時でも、非常食だけでなく「いつもの食事」を食べることの重要性を説く。

本書は「おいしいものでも三日続くと飽きてしまう」、「食べ慣れたもの、温かいものは、ほっとする」という東日本大震災での教訓を踏まえ書かれている。災害時には、日常的にストックしているような乾物や粉ものが活躍すること。水や火力の少ない状況でも、手軽に調理できるレシピが紹介されているので、災害時の調理の練習に最適の一冊である。

『関東大震災を歩く 現代に生きる災害の記憶』

たけむらまさゆき
武村雅之／著
吉川弘文館 2012 年



本書の最初に紹介されるのは、関東大震災で避難してきた約 3 万 8 千人が火災旋風によって亡くなった被服廠跡（現在の東京都墨田区にあった陸軍の軍服などを製造する工場跡）である。現在この場所は横網町公園等となっているが、横網町公園内には東京都慰霊堂や朝鮮人犠牲者追悼碑がある。本書は、こうした都内に現存する慰霊碑や記念物を実際に歩いて調査した記録である。

震災の際、現在の埼玉県出身である渋沢栄一は自宅を食料配給本部として解放するなど、震災当初から積極的に復興に関わっていた。また、復興の際の鉄筋コンクリート造りの耐震建築（築地本願寺や東京都慰霊堂）を設計した伊東忠太などの専門家や、一般の多くの市民も復興を支えた。本書は単なる災害の跡の記録にとどまらない。人々の復興の足跡の記録でもある。

『おしゃれ防災アイデア帖』

Misa / 著
山と溪谷社 2021 年



2018年の大阪府北部地震をきっかけに、著者の防災への意識は変わった。本書はそれまで防災に興味のなかった著者でも続けることができた、暮らしを楽しみながら、もしもに備えるアイデアを紹介している。その内容は、整理整頓アドバイザーの著者が考える、日々の生活に溶け込むような防災用品の整理術や、防災を無理なく続けていくための考え方をもとにしたものである。また、巻末には、紹介しているアイデアの目次があり、読みたいものにすぐに辿り着けるようになっている。

防災にあまり関心がない人や興味はあるけれど何から始めたらいいかわからない人、続ける自信がない人は、一度読んでみてはいかがだろうか。

『緊急防災ハンドブック』

にほんのうりつきょうかい
日本能率協会
マネジメントセンター／編
ししょうぼうきょく
さいたま市消防局／協力
かしわばらしょうてん
柏原昇店／イラスト
日本能率協会マネジメントセンター 2019 年



本書は、災害において「絶対に正しい」といえることはないかもしれないが、災害に備え、知識を得ることで、被害を抑えられるはずという考えから制作された。地震が起きた時にキッチンにいたらどうすればいいのか、川にいる時に突然集中豪雨に見舞われたらどうすればいいのか、そんなもしもの時の対処法を状況別に紹介している。さらには、被災後の避難生活についても紹介している。

また、制作にはさいたま市消防局が協力している。特に第6章「消防局の活動」では、さいたま市消防局の日々の活動や現役消防士へのインタビュー、さいたま市防災センターでの災害シミュレーション体験を紹介しており、さいたま市になじみ深い内容になっている。



ちょこっとゆかり文学クイズ

Q: 関東大震災が起こり、両親とともに浅草の家から浦和に避難した、戦後の日本を代表する時代小説・歴史小説作家は誰でしょう？

各図書館の目玉!

特徴的な地域資料コーナーを紹介します

各館には、特色のある地域資料を集めたコーナーがあります。ぜひ“ぶらり”とお立ち寄りください。

大宮西部図書館

鉄道



大宮図書館

文学資料



北図書館

盆栽
漫画文化



岩槻図書館

人形



桜図書館

桜
川



与野図書館

バラのまち



北浦和図書館

うなぎ
さつまいも
浦和ゆかり



東浦和図書館

サッカー



武蔵浦和図書館

別所沼ゆかり



中央図書館

見沼たんぼ
北沢楽天
さいたま専科
さいたまゆかりの児童文学



ちょこっとゆかり文学クイズの答え
(問題はP.3にあります)

A: 池波正太郎
(「男のリズム【新装版】」p34に記載有)

特別整理休館・臨時休館のお知らせ

さいたま市図書館は、下記の日程で順次休館します。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。詳しくは、さいたま市図書館ホームページをご覧ください。

●春野図書館……令和5年 9月25日(月)から 9月29日(金)まで
●片柳図書館……令和5年10月 3日(火)から10月 6日(金)まで
●西分館……令和5年10月 3日(火)から10月 6日(金)まで
●七里図書館……令和5年10月10日(火)から10月13日(金)まで
●与野南図書館……令和5年10月10日(火)から10月13日(金)まで
●大宮西部図書館……令和5年10月23日(月)から10月30日(月)まで
●移動図書館……令和5年10月23日(月)から10月30日(月)まで
●南浦和図書館……令和5年11月 6日(月)から11月10日(金)まで
●大宮図書館……令和5年11月 8日(水)から11月12日(日)まで
●大久保東分館……令和5年11月28日(火)から11月30日(木)まで
●大宮東図書館……令和5年11月28日(火)から12月 1日(金)まで

●東浦和図書館……令和5年12月 4日(月)から12月 8日(金)まで
●桜図書館……令和5年12月11日(月)から12月15日(金)まで
令和6年 1月 8日(月)(法定電気設備点検)
●中央図書館……令和6年 1月15日(月)から 1月19日(金)まで
●武蔵浦和図書館……令和6年 1月22日(月)から 1月26日(金)まで
●北浦和図書館……令和6年 1月29日(月)から 2月 2日(金)まで
●岩槻東部図書館……令和6年 2月 6日(火)から 2月 9日(金)まで
●馬宮図書館……令和6年 2月13日(火)から 2月16日(金)まで
●岩槻駅東口図書館……令和6年 2月19日(月)から 2月22日(木)まで
●北図書館……令和6年 2月26日(月)から 3月 1日(金)まで
●宮原図書館……令和6年 3月 5日(火)から 3月 8日(金)まで

年末年始 休館のお知らせ

・12月29日(金)から1月4日(木)まで大宮図書館以外の図書館は、休館です。

・休館中は図書館の返却ポストをご利用ください。宮原駅・西浦和駅・東浦和駅の各駅前の返却ポストは利用できなくなりますので、ご注意ください。

編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<https://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <https://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下の二次元コードを読み込んでください)

北浦和図書館 832-2321	馬宮図書館 625-8831	与野図書館 853-7816	桜図書館 858-9090
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	与野南図書館 855-3735	大久保東分館 853-7100
美園図書館 764-9610	春野図書館 687-8301	西分館 854-8636	北図書館 669-6111
大宮図書館 643-3701	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523	宮原図書館 662-5401
桜木図書館 649-5871	七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200	武蔵浦和図書館 844-7210
大宮西部図書館 664-4946	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665	南浦和図書館 862-8568

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町 11-1 TEL 048-871-2100 FAX 048-884-5500

★★編集後記★★

今年度から、発行回数を年3回から年2回に変更しました。今後は、図書館のホームページやSNSでの情報をより充実させていきます。

次回発行予定：3月15日(年2回発行)



もっと身近に、
もっとしあわせに



さいたま来ぶらり通信は 2,000 部印刷し、一部あたりの印刷経費は17円です。